



沼中だより

学校教育目標：「個」・「心」・「力」

6月号

2026年6月24日発行

逗子市立沼間中学校

校長 河原林 薫

○校長先生より○



雨の合間に咲く紫陽花がひとときわ鮮やかに感じられる季節となりました。保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動に温かいご支援をいただき、ありがとうございます。

先日の体育祭では、平日にもかかわらず多くの皆様にご来校いただき、生徒たちへ温かい声援をお送りいただきました。心より感謝いたします。生徒たちは限られた準備期間の中で仲間と力を合わせ、それぞれの役割を果たしながら当日を迎えました。競技や応援に全力で取り組む姿、互いを励まし支え合う姿に、一人一人の成長を感じることができました。皆様の温かな拍手や声援は、生徒たちにとって大きな力となりました。

また、5月27日に行われました教育課程説明会にも多くの皆様にご参加いただき、ありがとうございました。説明会では多くのご質問やご意見をいただき、本校の教育活動に対する関心の高さと期待の大きさを改めて感じる機会となりました。いただいたご意見を今後の学校運営に生かしながら、より良い教育活動の実現に努めてまいります。

学校教育は、学校と家庭そして地域が互いに連携し、子どもたちの成長を支えていくことが何より大切です。本校ではこれからも保護者の皆様との対話を大切に、信頼関係を築きながら教育活動を進めてまいります。

7月には個人面談を予定しております。お子様の学校生活や学習面、進路やご家庭での様子など、気になることがございましたら、この機会をぜひご活用ください。小さなことでも構いませんので、お気軽にご相談いただければ幸いです。

今後とも本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

※逗子市教育委員会より保護者・地域宛のおたより「学校の働き方改革にご協力をおねがいします」を裏面に掲載しております。

○3年生修学旅行○



5月20日(水)から22日(金)まで、3年生は奈良・京都方面への修学旅行を実施しました。1日目は、奈良を訪れました。当日は晴天に恵まれ、気持ちのよい青空の下で班別自主活動ができました。平城宮跡では、奈良時代の都の広大さに驚きつつ、強い日差しを受け、「暑〜い」とバテ気味の様子でした。その後、東大寺では大仏の迫力に圧倒され、奈良公園では「鹿力チューシャ・ハット」をかぶって鹿との写真撮影を楽しみながら、古都奈良の魅力を肌で感じる事ができました。また、生徒たちは時間を守って行動することができ、しっかり翌日に備えることができました。

2日目は、京都市内での班別自主行動を行いました。朝から雨に見舞われ、一時は大雨、雷も鳴るあいにくの天候となりましたが、生徒たちは班の仲間と相談しながら予定を調整し、安全に配慮して行動していました。苦勞しながらも、金閣寺や清水寺、二条城など京都を代表する歴史的建造物や文化財を訪ねました。思い通りにいかない状況の中でも、互いに声を掛け合い、協力して課題を乗り越えようとする姿から、大きな成長を感じることができました。夜には座禅体験を行い、静寂の中で自分自身と向き合いました。普段

の忙しい生活から少し離れ、心を落ち着かせながら過ごした時間は、生徒たちにとって貴重な経験になったことと思います。「座禅いい!家でもやる!」と言っている生徒もいました。

3 日目は嵐山方面を訪れました。トロッコ列車に乗車し、保津峡の美しい自然を眺めながら京都の風景を満喫しました。その後は天龍寺を訪れ、精進料理をいただきました。食材の命や自然の恵みに感謝する心、食事に携わる多くの人々への感謝について学ぶ機会となりました。慣れない正座での食事でしたが、多くの生徒が最後までしっかりとした姿勢で料理をいただき、残さず食べようとする姿が見られました。その様子からは、感謝の気持ちや礼儀を大切にしようとする生徒たちの成長が感じられました。ある生徒が、「修学旅行中は全部残さず食べてるんです」と報告してくれました。また、天龍寺の美しい庭園を見学し、最後には渡月橋で記念写真を撮影して三日間の思い出を振り返りました。

今回の修学旅行では、多くの場面で互いを思いやりながら行動する姿が見られ、生徒たちの成長を実感する三日間となりました。この経験を「東京遠足」や、今後の学校生活、進路実現に向けた歩みへとつなげてほしいと思います。保護者の皆様には、事前の準備や体調管理など、多くのご支援とご協力をいただきましたことに心より感謝申し上げます。

(3年代表 鎌田優里)



○体育祭○

<3年生>

前日には台風の影響が心配されましたが、当日は曇り空の下、無事に体育祭を実施することができました。けがや体調不良を訴える生徒も例年より少なく、3 年生においては「最後の体育祭だから!」と全力で競技に取り組み、自分の限界に挑戦する生徒の姿も見られました。

競技では、仲間と力を合わせて挑んだ「長縄跳び」が特に印象的でした。なかでも3年B組は全校一位となる「42 回」という素晴らしい記録を達成し、練習の成果を存分に発揮しました。また、「チェッコリ玉入れ」では、軽快な音楽に合わせて軽快に踊る生徒たちの姿がかわいらしく、グラウンド全体が温かな雰囲気になりました。ブロックリレーでは各学年の代表選手が力強い走りを見せ、グラウンドには「ファイトー!」と仲間を最後まで応援する声も響き渡っていました。

ブロック集会では、声をからしたリーダー、応援団長らが後輩に感謝の気持ちとエールを贈り、大団円となりました。

(3年代表 鎌田優里)



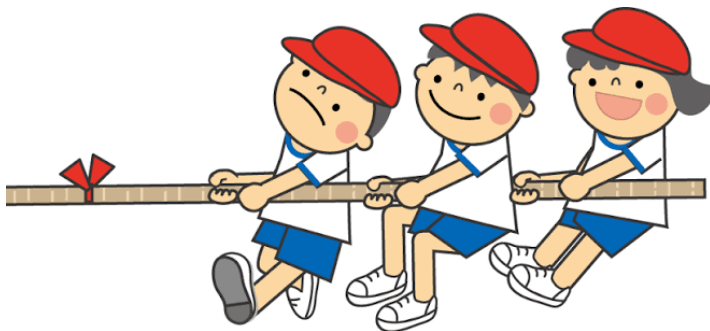
<2年生>

第2学年にとって、今年の体育祭は沼間中学校で迎える2回目の体育祭となりました。今年は自分たちが教わる立場から、1年生を支え、導く立場へと成長し、競技や係活動、部活動などさまざまな場面で頼もしい姿を見せてくれました。

各クラスでは、長縄や全員リレーなどのクラス対抗種目に向けて、何度も練習を重ねたり、作戦を話し合ったりしながら準備を進めてきました。予行練習の日は強い日差しの中での活動となり、疲れもたまったことと思います。しかし当日は曇り空に恵まれ、気温も上がらず、まさに体育祭日和となりました。前日には、各クラスの黒板に応援のメッセージやイラストが描かれ、仲間とともに気持ちを高めている様子がとても印象的でした。

体育祭には順位があり、うれしい思いをした人もいれば、悔しい思いをした人もいたことでしょう。しかし、それ以上に大切なのは、「みんなでよりよくするために何ができるか」を考え、仲間と意見を交わしながら一つの目標に向かって取り組む過程です。今回の体育祭で深まった絆や協力する力を、これからの学校生活にも生かしてほしいと思います。個人として、クラスとして、そして学年として何ができるのかを考えながら、さらに成長していくことを期待しています。

(2年代表 平元遼一)



<1年生>

沼間中学校での初めての体育祭練習。はじめのうちは戸惑うことが多かった40期生ですが、各ブロックの先輩方や体育的行事委員のメンバーのおかげで少しずつルールを覚え、作戦を練ったりしながら楽しめているようでした。昼休みに長縄をとぶクラスも見受けられ、目標を立てながらの練習を毎日しようと思った矢先の悪天候…。気持ちとは裏腹に思ったような練習のできない日々が続きました。

予行練習も日程を繰り上げて行い、台風一過の6月4日(木)。いよいよ体育祭本番です。長縄は1年生からなので先輩からの応援が各ブロックで飛び交いました。結果は1A(赤ブロック)の勝利!跳んだ回数は20回でした。全員リレーは1C(黄ブロック)の勝利!そして、総合優勝は1B(青ブロック)でした。各クラスに賞状が行き渡り、全クラスのはじける笑顔が見られた体育祭になりました。来年度40期生は「先輩」の立場になります。後輩にどのような背中を見せてくれるのか、今から楽しみです。最後に、見に来てくださった保護者の皆さま、アンケートにご回答いただいた保護者の方々、ありがとうございました。

(1年代表 田中里香)

